

平成24年度 第1回太田地域協議会 会議録

■日 時 平成24年5月1日（火曜日） 午後1時30分～

■会 場 太田庁舎 2階 会議室

■出席委員（9人）

大信田 弘 喜委員 大信田 孝 文委員 大信田 康 雄委員 鈴木 弘 之委員  
倉 田 良 子委員 野 中 シゲ子委員 川 原 猪 利委員 藤 澤 由希子委員  
藤 原 鈴 司委員

■欠席委員（8人）

石 崎 尚委員 草 薨 太 郎委員 小 松 淑委員 高 貝 恵 子委員  
鷹 背 信 行委員 高 橋 文 子委員 高 橋 清一郎委員 福 原 榮 司委員

■出席職員（本庁）

久 米 正 雄（大仙市副市長）  
小 松 英 昭（次長兼総合政策課長）  
高 橋 正 人（総合政策課主幹）  
佐々木 翔（総合政策課主事）

■出席職員（太田支所）

草 薨 均（太田支所長） 小 松 栄（市民サービス課長）  
佐 藤 朗（農林建設課長） 長 澤 猛（太田公民館長）  
湯野澤 俊 作（市民サービス課参事） 高 橋 正 由（市民サービス課参事）  
福 原 幸 二（市民サービス課参事） 福 田 義 治（農林建設課参事）  
武 蔵 一千代（農林建設課参事） 高 橋 隆 伸（市民サービス課主席主査）  
黒 澤 伸 朗（市民サービス課副主幹）

次 第

- 1 開会
- 2 会長あいさつ
- 3 副市長あいさつ
- 4 議題
  - ・会議録署名委員の指名
- 5 協議
  - （1）平成23年度地域枠予算の決算報告について
  - （2）地域枠予算執行事業について
- 6 その他
- 7 閉会

## ●開会（小松市民サービス課長）

本日は、お忙しい中にもかかわらず、ご出席くださりまして誠にありがとうございます。定刻になりましたので、ただいまから平成24年度第1回太田地域協議会を開会いたします。

それでは、会長からごあいさつをいただきます。大信田会長、お願いします。

## ●会長あいさつ（大信田康雄会長）

最初の協議会でございます。委員の皆様には、ご覧のとおり天気も良くて、何かとお忙しいところご出席を賜りました。本当にありがとうございます。

それに、今日は年度当初でありますので、市から久米副市長さん、小松次長さんのご出席を賜りました。後ほどいろいろお話を伺えると思いますが、委員の皆様もこの次第にないことでもいいので、久米副市長さんはじめ小松次長さんにお伺いしながら、有意義な協議会になるようお願いします。

本日の協議会は、次第にお示ししているとおりでありますが、前回の協議会でも地域予算の内容について、非常にきめ細かい意見をいただきました。そういったこともふまえながら新しい年にふさわしいような協議会にしたいと思っておりますので、皆様から忌憚のない意見を賜りたいと思います。

協議会に先立ちまして、一言挨拶申し上げます。よろしくお願いいたします。

## ○小松市民サービス課長

ありがとうございました。続きまして、久米副市長からご挨拶をいただきます。お願いします。

## ●副市長あいさつ（久米副市長）

副市長の久米でございます。太田地域協議会の開催にあたり一言ご挨拶申し上げます。

本日はご多忙中にもかかわらず、ご出席をいただきまして誠にありがとうございます。

また、日ごろより市政運営に対しまして、ご支援、ご協力を賜りまして本当に厚くお礼申し上げます。昨年、東日本大震災にかかる被災地、被災者支援におきましても、本日もご参加の皆様はじめ、多くの市民の皆様からご協力いただきながら様々な支援活動に取り組むことができたことに関しまして、重ねてお礼申し上げます。

早いものでこの大震災から1年1か月が過ぎました。被災地では全国からの温かい支援と被災された方々の努力によりまして着実に復興に向かっていっているところでございます。

しかしながら、復興の早期実現にあたっては大量の災害廃棄物が最大の障壁となっております。そして、この処理が被災地にとっていま最も望まれている支援となっております。大仙市では、こうした状況を踏まえまして、4月23日からがれきの本格受け入れを開始したところであります。受け入れにあたりましては、市民の安全の確保と理解が何よりも重要であるという考えのもと、昨年の10月から調査、検討を進めまして被災地の現地視察や市広報による市民への周知、さらには地域住民との意見交換会など行ってきたところでございます。3月下旬に行われました試験焼却や、試験焼却の前後の周辺土壌検査の結果、受け入れにあたっての安全性が確保できたことから、このたび本格受け入れを始めたものでございます。今後も市民の皆様からのご理解とご協力をいただきながら被災地の復興に向けて引き続き支援活動を行ってまいりたいと考えており

ます。

また、こうした被災地支援に加えまして、この震災による経験を生かすかたちで地域防災計画の見直しや、さらには自主防災組織の育成、要援護者の避難支援、避難所の機能強化、公共建築物等の耐震強化など全体的な危機管理体制の再構築を進めているところでございます。市民の皆様が安心して暮らせる災害に強い地域づくりをよりいっそう推進してまいりたいと考えております。

さて、大仙市内八つの地域に地域自治区を設けまして、それぞれの自治区に地域協議会を設置してから8年目を迎えたところであります。

これまで、地域協議会におかれましては、地域の課題を地域住民自らの力で解決する仕組みづくりを進めていただくため、活発な活動を展開していただいております。

「市政は市民のために」という基本理念のもと、市役所も市民と共に汗を流しながらまちづくりに取り組み、地方分権時代にふさわしいまちづくりを目指して、引き続き努力してまいりたいと考えておりますので、地域協議会委員の皆様からは市民の代表として、今後とも貴重なご意見、ご提案をいただきますようお願いいたします。

さて、本年度の太田地域の事業についてでございますが、横沢地区の市道平内清水1号線の消雪設備改修事業につきまして、水源調査を実施いたします。水位の低下などにより消雪に必要な水量を確保できない状況でしたが、来年度の改修工事に向けて十分な水量を確保できるよう調査いたします。

次に、太田地域における地域枠予算につきましてですが、昨年度より66万7千円の増の634万円となっております。これは、各地域からの増額要望や、これまでの執行状況等をふまえたものでありまして、大曲地域を除く7地域に市全体で500万円を増額することとしまして、人口割で配分したものであります。これまで以上に各地域の特色を生かした取組が推進されることを期待しております。

また、大仙市における重要課題であります仙北組合総合病院の改築整備を含めた大曲通町地区市街地再開発事業の進捗についてでございますが、2月14日に安全祈願祭を行い、現在は北街区の解体を進めているところであります。既に旧ジョイフルシティの看板が取り外されるなど駅前の景観に変化が現われております。7月には解体を終えて病院建設に着手しまして、平成26年1月の竣工、そして5月の開院を目指しております。市街地再開発全体の工事完了は平成27年7月の予定でありまして、今後とも事業の推進が図られるよう努めてまいりたいと思っております。

結びになりますが、市では、様々な山積する課題について議論を重ねながら、市民の皆様が生き活きと活躍でき、地域に愛着や誇りが持てる、安心して暮らせるまちづくりを進めてまいりたいと考えております。

委員の皆様におかれましては、これまで以上のご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、本協議会が実りあるものになることをご祈念申し上げまして、ご挨拶とさせていただきます。

## ○小松市民サービス課長

ありがとうございました。それでは、新しい年度が始まり支所の職員にも異動がありましたので、職員紹介を草薙支所長からお願いします。

## ○職員紹介（草薙支所長）

## ○小松市民サービス課長

それでは、本日の案件に入りたいと思います。なお、会議録作成のため発言の際はマイクを使用くださるようお願いいたします。本日の地域協議会は、委員の2分の1以上が出席しておりますので成立していますことを報告します。

## ●会議録署名員の指名（大信田会長）

はじめに会議録を作成するため署名委員を指名させていただきます。鈴木弘之委員と川原猪利委員のお二人にお願いします。

## ●協議

（大信田会長）

それでは、さっそく協議に入りますが、（1）であります平成23年度地域枠予算の決算報告について、事務局の方から報告をよろしくお願いします。

（事務局）

【 資料1により 平成23年度地域枠予算の決算報告について説明 】

（大信田会長）

23年度の決算内容について、ご説明をいただきましたが委員の皆様、何かご質問はありませんか。

「意見なしの声」

（大信田会長）

それでは、特にないようなので、次に入ります。平成24年度地域枠予算執行事業について事務局からご説明をお願いします。

（事務局）

【 資料2により平成24年度地域枠予算執行方針について説明 】

【 資料3により横沢ささら備品修繕事業（Ⅲ型）について説明 】

【 資料4により少年少女野球教室 in おおた開催支援事業（Ⅱ型）について説明 】

（大信田会長）

ただいま、説明いただきましたが、今まで太田地域の計画に基づいた内容で色んな個別の事業を進めてきましたが、24年度の執行方針は太田地域振興計画に基づいて皆さんからご承認いただいた内容に従って事業を進めているわけですが、時間の経過に伴って見直しが必要とかあるいは内容をもう少し詰める必要があるとかと思いますが、今、執行事業について二つの説明がありました。そういうことを含めて計画に基づいて進めているわけですが、そういった内容を見直す必要があるかどうかについても忌憚のない

意見をいただければありがたいと思います。

まず最初に、資料2でご説明いただきました方針に基づく内容、予算の内容について、今年最初の協議会ですから、まず我々の考え方として委員の皆さんで思いつきでも結構ですからお話いただければありがたいです。

(藤原鈴司委員)

藤原です。地域枠予算の執行方針で2点お聞きします。一つ目は花のまち推進事業で、大変いいことですし、毎年、維持継続されていることですが、事業の目的のところに「太田花の会による推進事業と別角度による推進を図ることにより、多角的に推進することを目指す」と書かれていて、太田花の会の名前がでてきますが、太田花の会の活動は私もよく知っています。別角度による推進とはどういう意味合いなのか、もう少し詳しく具体的に教えてもらえればと思います。

それから二つ目は、自治会街灯設置事業補助金ですが、昨年度、地域枠で執行されていないんですね。また今回もでてますが、おそらく街灯が不足しているところがあるだろうという予測のもとでだされたことですね。ということが一つと、今年、昨年と雪が多くて街灯もなんですが、腰の高さくらいの定期的に設置されている道路の反射板の破損がひどくて散らばっている状態です。そういう補修とかは本予算なのか、あるいは地域で補修したいということで地域枠予算でもいいものなのか。街灯の件と含めて、去年、街灯が使われていないとすれば、今回、別のことでというような考えもあるのかどうかお聞きしたいと思います。以上です。

(大信田会長)

ありがとうございます。それではまず、二つのうち最初の花のまち推進事業について事務局から内容について説明してください。

(事務局)

それでは、花のまち推進事業ですが、表現があまり適切でなかったかもしれませんが、昨年と同様の事業で、毎年、苗を植え直す花壇の活動も花の推進ですし、多年草での花のまちを推進するということを表現したいため、このような書き方となりました。

奥羽山荘のふれあいの里内のもみじ庵の西側にあるナチュラルガーデンの整備ということで24年度も引き続き行うということと、同じような形で各地で多年草による花の推進を図っていければということです。

それと自治会の街灯設置ですが、3月の協議会でも同じような意見がありまして、基本的に市道にたいする街灯ということで、市道の整備ということで農林建設課の事業を優先といいますか、そちらのほうで実施できれば負担を生じることもなく要望に応じていけるということですが、どうしても緊急性があり、今すぐ設置しなければならないというような事態が発生した場合のために、地域枠予算でも項目として設けていたほうが良いということで、今年度も項目を上げています。

デリネーターにつきましては、除雪作業でかなり傷んだものがあちこちで見られますので、道路維持事業の中で整備、回収しているところです。

(大信田会長)

委員の皆さん、他に何かありませんか。

なければ2番目に執行事業として説明ありました「横沢ささら備品修繕事業」について、ご承認いただけるかどうかですが、いかがですか。

確かささらは、横沢ささらだけじゃなくて、国見ささらもありますよね。もし一緒にそういうのもやったらどうかという意見もありましたら。

(鈴木弘之委員)

国見ささらもありまして、白岩にもあります。地域枠予算でリニューアルできるならいいことですし、太田でも秋まつりとかでささらのイベントとかやれたらいいかなと思います。ささらについては素晴らしいと思います。

(大信田会長)

鈴木委員が言ったように、他の地域でも、もうちょっと揃えたほうがいいとか、いいものにしたほうがいいとか、何かありませんか。段々と他の地域でも必要があればということで、まずは今年の横沢ささらの執行事業について、皆さん、ご承認いただけるでしょうか。

「異議なしの声」

(大信田会長)

それでは、ご承認させていただくということで、ありがとうございます。

次に、4番の少年少女野球教室の太田開催事業については、毎年、開催していますし担当の方が鈴木委員ですから、その中身について皆さんにもう一回お願いできますか。

(鈴木弘之委員)

この事業の申請者の鈴木弘之です。この野球教室も十何回開催しています。子供たちが楽しみにしておりますし、また、この野球教室により太田地域のスポーツ少年団、中学校、高校のレベルが上がってきております。是非これを今後とも続けたいという実行委員会の有志として、有志の方たくさんおましてボランティアで進めておりますので、是非ご承認していただきたいと思います。

そのほかにも野球教室ではありませんが、東北六県の高校生の野球の子供たちが太田、中仙に来て練習試合を6月の末、夏の大会前にリーグ戦をしています。その中には甲子園に出るチーム、それから太田分校、大曲農業高校といった地元のチームが一緒に入っております。審判等はほとんど当地域の審判部とか近隣市町村の審判部のボランティアで行っております。このような事業もありますが、地域枠予算は入れてませんが、地域協議会の皆さんには、そういう事業もあるということを知っておいてもらえればと思います。よろしく申し上げます。

(大信田会長)

それでは要望された鈴木さんからの説明もありましたし、皆さん如何なものでしょう。この事業は、これまでずっとやってきたわけですが、太田の特徴ある事業の一つということで、地域枠予算でということでご異議ありませんか。

「異議なしの声」

(大信田会長)

それでは、少年少女野球教室の事業について、ご承認いただきました。ありがとうございます。

以上で地域枠予算に関しては終了させていただきます、次第6のその他に入ります。その他については、事務局から説明をお願いします。

## ●その他

(事務局)

- ・地域枠予算の執行予定事業について  
石神会館敷地整備事業
- ・東部地区地域協議会合同研修会について  
本年度は太田地域が当番

(長澤公民館長)

野球教室、ご承認ありがとうございます。お知らせですが、今年は野球のスポーツ合宿に東京学芸大の野球部が来ます。それから立教大の準硬式も来ます。もう一校の大学も来ます。都市農村交流ですので、学芸大の野球部の皆さんからは「太田の寺子屋」ということで寺子屋方式で太田の子供たちに勉強を教えていただくことになっております。

(佐藤農林建設課長)

先程、東北地区の高校野球のお話がありましたが、6月の第4週の土・日にあります。

今年は、被災地からは、ぜひ参加したいということで大槌高校も参加します。

被災地支援ということで、地域枠予算から支援いただければと思ひまして、情報としてお話いたしました。

(大信田会長)

ありがとうございます。お二方の内容について、非常にいい方向へ向けて地域枠予算の範囲内でできるものは、対応できるように委員の皆さんからお力をお借りしたいと思ひます。特に立教大学の野球部がずっと来てて、去年だけですか来ないのは。なんかやはり寂しい思いをしました。そういう意味では、せっかく立派な球場もあるし、合宿所もあるわけですから活用していただくと、それとまた震災でそういった恵まれない施設の皆さんに大いに使っていただくということで協力できるのかなと思ひます。委員の皆さんにもおそらく賛成いただけるかと思ひます。

それから、事務局から説明がありましたが、石神会館については、また具体的な話になれば協議会の場で協議いただくこととなります。東部地域の合同研修は9年目に入りますが、声を上げたのが当協議会であり、3つの地域で一緒に勉強会をやりたいというのがスタートであります。委員の皆さんから知恵を出し合っていて、近いうちにご提案いただければと思ひます。そういうことも含めて事務局からご検討いただけるようにお願いしたいと思ひます。

それでは、ご提案いただいた案件の協議は終了し、その他もいろいろお話いただきま

した。ほかになにかございますか。ないとすれば、これをもちまして本日の協議会は終わらせていただきます。委員の皆さんには大変お疲れ様でした。また、お忙しいところ久米副市長には最後までお付き合いいただきありがとうございました。

会議の次第を記載し、これに相違ないことを証明するためここに署名する。

会議録署名委員 鈴木 弘之

---

会議録署名委員 川原 猪利

---